

睡眠関連食行動障害／夜間摂食症候群 診断補助用紙

睡眠関連食行動障害 (SRED)

該当すれば○

A	いつも寝ているはずの時間帯(通常であれば夜)に、自分では制御できない 食事 をする。	
	夜間睡眠中もしくは半覚せい状態の意識障害下で、無意識に飲食を繰り返す。	
B	以下の 1)~6)の 1つ以上	
	1) 食べ物・食べ物ではないもの・食べてはいけないもの等を、奇妙な食べ方や組み合わせで飲み食いする	
	未調理の物、食用ではないもの(例:ペットフード、卵の殻)、毒性のあるもの(例:タバコ、台所洗剤)、アレルギーで普段避けている食品を摂取するなど、常軌を逸した食行動。	
	2) 睡眠時間帯に繰り返される 食事 が原因で、睡眠が途切れ、不眠になり、睡眠による休息が十分にとれず、日中に疲れや眠気が残る	
	3) 睡眠に関連した怪我の経験がある	
	4) 食べ物を探したり調理したりしている間に危険なことをした	
	意識障害下での行動であり、調理時や食事に負傷することがある。	
5) 夜間の過食の影響で、朝に食欲が無い		
6) 夜間に繰り返された高カロリーの過食で、健康への悪影響が生じている		
C	この障害が他の睡眠障害／身体疾患／神経疾患／精神疾患／薬物使用／物質使用障害で説明できない	(医師判断)

以上の A+B+Cで「睡眠関連食行動障害 (Sleep Related Eating Disorder: SRED)」と診断。

DSM-IV では特定不能の睡眠時随伴症 Parasomnias nototherwise specified に、ICD-10 では F51.5 非器質性睡眠障害、特定不能のもの Nonorganic sleep Disorder, unspecified に含まれると考えられる。

夜間摂食症候群 (NES)

該当すれば○

D	夕食後、寝る前の間に、すごく飲食したくなり食事する。	
	または、夜中に目が覚めて、すごく飲食したくなり食事する。	
E	夜間の食事の際、意識が障害されておらず、しっかりと記憶がある。	

以上の D+E「夜間摂食症候群 (Night-eating Syndrome: NES)」と診断。